

と



し

ま



2024年度 No.3



うさびよん

徳島地検ニュー〜ス！今回は、本年度徳島地方検察庁の仲間入りをしたフレッシュな新1年生6名にインタビュー〜！

さっそく最初の質問だよ！「検察庁って職場の雰囲気も人も『お堅い』イメージあるね」と、うさびよん仲間でもよく言われてるけれど、徳島地方検察庁の雰囲気は入庁してみてもうやった？

当庁の職員は、締めるところは締めつつも和気あいあいとしながら業務に取り組んでいます。

専門的な知識が必要となる場合でも、上司や先輩が一から丁寧に教えてくださるので、安心して働くことができます。Iさん

分からないことがあればすぐに教えてください、明るい雰囲気の職場だと感じました。

入庁前は、検察官は怖いというイメージがありましたが、入庁してみると話しやすく優しい検察官が多かったです。Fさん

皆さん優しく接して下さるのでとても業務を行いやすいです。

検察官の方とはまだそこまでお話をさせていただいたことはないのですが、固いという印象よりは気さくな方が多い印象を受けています。

M.Hさん



上司をはじめいろいろな人が話しかけて下さるなど明るく気さくな人が多いです。

Aさん

理系で法律を学んだことはなく、入職前は仕事内容についていけるかの不安でした。しかし、上司の方々はとても丁寧に仕事を教えてくださり、法律に関しても仕事をしていく上でその都度学べるため、当初思っていたほど難しく考える必要はなかったです。

法学部ではなくても、自分のペースで仕事を覚えていくことができますよ。

M.Yさん

実際働いてみると、明るくて雰囲気が柔らかい方が多く、若手同士はもちろん、上司と若手の垣根を越えて会話が飛び交っており、明るい雰囲気の中で仕事をする事ができています。優しい方ばかりで、わからないことを教えてくださいたり有休の取得も推奨して下さったりと、職務内容だけでなく働き方の面でも安心して取り組むことができますと思います。

検察官、事務官の方々関係なく、徳島地検にいらっしゃる方々は優しい方が多いです。Tさん



うさびよん

次の質問だよ。初等科研修での思い出の一コマを教えてぴよん！

※初等科研修は、採用1年目の検察事務官のために、約1か月間行われるものです。今年は、5/9～6/5までの期間で行われました。

地域の垣根を越えて、毎日集会所の使用終了時刻ギリギリまでお話をしたり、いろいろな場所に一緒に行っておいしいご飯や有名な観光場所を楽しんだり、講義外での時間を一緒に過ごすことで仲が深まったことが一番思い出に残っています。

また、私は事件係ですが、研修のおかげで他地検の事件係の方と仲良くなり、職務について聞きあたりプライベートでも遊ぶ約束をしたり、年も配属も同じということで精神的に心強い存在ができたことは研修の大きな良い点だと思います。Tさん

四国管内の同期はもちろん、札幌管内の同期とも仲良くなることができました！土日は同じ地検の同期や他地検の同期と観光や外食したりするなど、旅を満喫していました！

特に四国管内の方々は、今後の中等科研修や専修科研修で関わることがあるため、仲良くなれてよかったと感じています。M.Yさん

民法の講義で班活動で討議を行いながら講義を進めていったのが印象に残っている1コマです。

民法について学びながら他地検の方とも交流をすることができいろいろな意味で身になった講義でした。M.Hさん

休日に他地検の人たちや徳島地検の同期と一緒に、函館や小樽などの観光地をめぐるたり、美味しいものを食べたりしたことです。Aさん



社会人のためのマナー講習という、他庁での立ち振る舞いや受付の仕方などを他地検の同期と合同で行う講義があり、印象深いです。他庁の同期と会議を行う上司の役として練習した際には、双方とも慣れない上司役に苦闘しながらもなんとか契約を結びました。Iさん

立会事務の講義で、検察官役、事務官役、被疑者役、護送員役に分かれて弁解録取の演習を行ったことが一番思い出に残っています。実際に行うことで、見落としやすい手続きや注意すべきことを理解しながら学ぶことができました。

また、講義後にみんなでトランプをしたり、休日に遊びに行ったりして、様々な地検の同期の人と仲を深めることができました。

Fさん

1年ぶりにお邪魔しま～す！今年度の初等科研修は、な、なんと札幌高等検察庁管内と高松高等検察庁管内の合同で法務総合研究所札幌支所で開催されたよ！毎年変わるから、来年度はどこの地域の研修員と同期になるか、楽しみだね♪



M広報官





うさびょん

最後の質問だよ！未来の後輩に向けて一言お願いしま〜す♪

検察事務官は、実際の事件の捜査や一連の処理手続きに携われる、魅力のある仕事です。また、職場の風通しもよく、毎日が充実しています。

受験生の皆さん、暑い時期で精神的にしんどくなる時もあると思いますが、自分を信じて最後までやり切ってください。Aさん

入庁前は堅苦しいイメージのある方が多いと思いますが、いざ入庁してみると皆さんとてもやさしくとても活気があります。またわからないことがあるといつでも優しく助けてくれます。難しいこともたくさんあると思いますが皆さん通る道なので安心してください。私も現在業務を1つ1つ覚えることに必死です。

是非一緒に働けることを楽しみにしています。

M.Hさん

検察庁での仕事はやりがいが多く、日々新たな発見や学びがあります。

刑事事件や裁判に興味がある方はぜひ説明会に参加してみてください。

Fさん

検察事務官は、特別な知識が必要というわけではなく、検察事務官になりたいという思いがあれば誰でもなることが可能です！

試験等大変な時期かもしれませんが、ぜひ合格していただき、将来一緒に仕事ができることを楽しみにしております！

頑張ってください！ M.Yさん

人の人生に大きく関わることもありますが、その分専門的な業務も多くやりがいのある仕事です。皆さんとともに働ける日を楽しみにしています！

Iさん

検察庁での仕事は慣れないことばかりで大変なことも多いですが、和気あいあいと楽しい毎日を送っています。また、私自身法学部出身でも徳島県出身でもありませんが、いろいろな方が優しく教えてくださるので、研修や実務を通して知識や法令等を学ぶことができますし、いろいろな出身の方々がいらっしゃるので、疎外感等を感じることもありません。

検察事務官は大きな責任が伴う難しい仕事ではありますが、自身を成長させてくれる楽しい仕事だと思います。ぜひ、新しい庁舎で一緒に働きましょう。

Tさん

一年目のみなさんが生き生きと働いている姿、いつも見えますよ。是非、あなたも！新庁舎で一緒に働きましょう♪ みんな～、徳島地方検察庁で待ってるよ♪

